

別記第1号様式(第7関係)

会 議 録

附属機関又は 会議体の名称		第七期第1回生涯学習推進協議会小委員会
事務局(担当課)		文化商工部学習・スポーツ課
開催日時		令和5年3月8日(水)10時~12時
開催場所		本庁舎7階文化商工部会議室
議 題		・評価の軸を明確にしていく 3月27日の第2回生涯学習推進協議会で、方向性を示す提案を決める。
公開の 可否	会 議	<input type="checkbox"/> 公開 <input checked="" type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開 傍聴人数 人
		非公開・一部非公開の場合は、その理由 各委員の感想及び意見を忌憚なく発言していただくため。
	会 議 録	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開
		非公開・一部非公開の場合は、その理由
出席者	委 員	高井正(会長)、中上亜樹(副会長)、齋藤知明
	そ の 他	
	事 務 局	学習担当係長(生涯学習)兼社会教育主事、生涯学習指導員

審 議 経 過

評価の例

- ・自分の学びに対する評価

主催者、学習者、講師がそれぞれ自己評価し、全体の評価となる。

- ・公民館の例

講座終了後に報告。手話や保育付だったのか、数字と数字以外に講師のコメント、担当者への聞き取りなどで年間の事業評価を行っている。

「評価する」方向性について

1. 何を評価するのか

『豊島区生涯学習ビジョン』 P16～18 施策の体系図 1、2、3にある、11の柱

- ・1つの事業に対して、複数の柱が該当する
- ・運営する側も意識する

2. 誰が評価するのか

マナビト生数人が講座に参加して、報告するのはどうか？

3. いつから？

令和5年度第3回生涯学習推進協議会開催以降、実験としてやってみる。

4. 対象とする事業

学習・スポーツ課で実施している事業。

1～4を、3月27日の第2回生涯学習推進協議会で具体的に進めることを提案する。
方向性について意見交換をする。

会 議 の 結 果

3月27日の第2回生涯学習推進協議会に向けて

方向性について議論するため、評価となる数が出ている資料として「事務事業評価」「主要な施策の結果報告」などを用意し、評価の現状を報告する。

令和5年6月の第3回生涯学習推進協議会に向けて

第3回の協議会以降、具体的に活動をしていくために、評価の項目の作成、課内の調整などを行う。